

=2021年度報告=

1. 町内会各部の活動内容の報告

● 広報部

1. 町内会などの全戸配布物（町内会書面総会資料・土橋ウォークのお知らせなど）の配布を実施しました。なお、コロナ禍のため毎月1回の県・市政だよりは行政よりポスティングを行っています。
2. 各種ポスター・お知らせなどを掲示板に掲示しています。
3. ホームページにより情報発信を行っています。

● 交通部

1. 土橋交差点交通監視活動への参加(4/6)
2. 土橋神社初詣の交通整理(12/31)

● 防犯部

1. 防犯パトロールの実施（年4回）：防犯部員 防犯指導員 町内会役員による土橋町内の巡回
※緊急事態宣言発令時は中止いたしました。
2. 防犯灯新設申請：2021年度は6灯申請し6灯設置となりました。
3. 防犯カメラ設置：土橋2丁目公園内に防犯カメラ2台を設置しました。
4. 防犯灯点検活動：各丁目防犯部員により隔月（偶数月）ごとに目視による点検を実施しました。
5. 町内会行事の警備：納涼盆踊り大会・親子運動会は中止のため実施しませんでした。土橋ウォークでは開催期間中に参加者の見守り活動を実施しました。

● 環境衛生部

1. 尻手黒川線（東名高架下～宮前平駅）、区役所通り（区役所交差点～土橋交差点）、土橋小前街路（カッパーク鷺沼交差点～尻手黒川線交差点）の3街路全長2,500mの街路樹廻りの除草と歩道清掃を計12回実施、延べ331名の方にご参加いただきました。
2. 川崎市の「緑化指定地区」の指定を受け、6月と11月の2回、川崎市建設緑政局からの花苗の支給を受け、東名インター前、矢上川花木園、土橋七丁目公園、土橋会館の各花壇に花植えを行ないました。（作業は土橋園芸クラブが担当）
3. 盆踊り大会、親子運動会の会場美化活動は行事中止のため実施しませんでした

● 防災部

1. 防災会議はコロナウイルス感染症の拡大に伴い中止しました。
2. 防災の集いはコロナウイルス感染症の拡大に伴い中止しましたが、代わりに土橋ウォーク【防災編】を実施しました。
3. 「防災組織 令和3年度版」を作成し防災部員全員に配布しました。
1) 土橋町内会自主防災組織表 2) 防災組織ハンドブック 3) 感染症対策・ポケットガイド
4. 避難所運営会議はコロナウイルス感染症の拡大に伴い中止しました。
5. 「防災資器材購入補助金」および新設の「町内会・自治会活動応援補助金」を利用して防災資器材を購入しました。
6. 2021年度宮前区自主防災行事コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止しました。

2. 高齢者地域福祉活動の報告

●土橋カフェ

新型コロナウイルス感染防止のため設定された土橋会館利用臨時ルールにより、開催困難となり、年間を通じ開催が見送られた。

コロナ禍下における開催方法について討議すべくスタッフミーティングを2回行った。

●土橋地区地域包括ケア圏域会議

地域包括ケア圏域会議を11月22日に開催した。常任メンバーのほか、土橋地域に関係の深いケアマネージャーの方々にも参加いただき、土橋町内の各丁目ごとの高齢化率あるいは相談支援の実態が報告されるとともに、丁目ごとに地域支援の在り方についてグループ討議を行った。

公設機関と民生委員を中心とした地域住民との連携が一方通行で、公設機関から個人情報保護の観点により情報伝達がなく、折角の支援の意思が無駄になることが多いと問題提起されたが、解決策を見出すには至らなかった。なお、圏域会議は地域包括支援センター・レストア川崎が主導し、町内会関係役員、つくし会、民生委員、宮前第二地区社協、宮前区役所地域みまもり支援センターのメンバー構成により、地域福祉課題について解決を求める場である。

●認知症サポーター養成講座

3月30日に土橋会館にて主として町内会会員向けに開催し、36名の方が認知症サポーターとして登録された。今回の講座では、講師として高橋メモリークリニックの医師 高橋正彦先生に認知症全般の話をしていただき、老門、久峯の両キャラバンメイトが補足の説明を行った。

3. 行政機関等との活動内容の報告

●川崎市廃棄物減量指導員（各丁目に2～3名）

「かわさきチャレンジ・3R」として呼称されている「ゴミの発生抑制（リデュース）」、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）」を推進するため、①ごみの減量の普及啓発、②リサイクル活動実践の指導、③排出方法の順守指導、④廃棄物行政に関する意見及び情報の提供に関する協議会に参加協力しています。

●路上違反広告物除去推進協力員

自宅周辺や地域に氾濫する違反広告物は、法令に違反する広告物であっても、法的な権限なしでは除去することはできないとされております。そこで、法令上適正な形でご参加いただき、これまでの市の除去と並行して地域ぐるみの除去活動を展開してできるよう、平成11年10月に「川崎市屋外広告物条例」を改正し、「市民等の協力による路上違反広告物の除去事業」を創設しました。路上違反広告物除去推進協力員は、自治会、町内会等の地域団体より推薦され、市長の委託を受けて活動しています。

●川崎市美化推進運動

1. 宮崎台駅前での「路上喫煙防止等統一キャンペーン」の一環として実施する駅周辺の清掃活動に参加（11月、3月）しています。
2. 市内統一美化活動（公園草刈り清掃）、美化推進会議に参加協力しています。
3. 毎年6月に開催される「多摩川美化活動」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。

4. 市内統一美化活動は実施日が「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」発令中のため中止となりましたが土橋町内の「公園草刈り清掃」(夏・秋)は感染防止対策を行い予定通り実施しました。

5. 花いっぱい運動(区民祭での花苗無料配布)は宮前区民祭中止のため実施しませんでした。

●宮前平中学校区地域教育会議

教育行政への学区内住民の総意を反映させるため、日常生活圏に根ざした教育への市民参加の恒常化ネットワーク化による地域の教育改革を図ることを目的とした自主独立の団体です。

宮前平中学校区とは、宮前中学校とその中学校の区域にあたる富士見台小学校、土橋小学校、宮前平小学校、宮崎台小学校の学校区域のことで、その保護者、教職員、公募による住民委員等で構成されています。町内会からも選出された委員が諸活動に参加協力しています。2021年度は、会議は1回のみで活動はありませんでした。

●宮前平中学校教育推進会議・富士見台小学校教育推進会議

開かれた学校をつくるために学校教育法施行規則(学校評議委員制)及び川崎市子どもの権利に関する条例(子どもの参加)の機能を合わせ持った会議で、学校の運営方針や計画を学校より説明があり、より良い学校をつくっていくための意見交換の場です。学校教職員・保護者・学区住民・児童生徒が参加して年3回行われます。2021年度は富士見台小学校「創立50周年記念」行事にも参加させて頂きました。また、コロナ禍のため富士見台小学校の3回目の会議は中止になりました。

●土橋小学校 運営協議会・土橋小学校 地域学校協働本部「つっちーボランティアひろば」

土橋小学校は、学校運営協議会制度を導入した学校＝「コミュニティ・スクール」です。2020年度より新しい体制(協議と実働の切離し)に移行しました。土橋小学校運営協議会は熟議を基本として根幹的な働きを担います。土橋小学校 地域学校協働本部「つっちーボランティアひろば」は実働の場とし、役割を棲み分けそれぞれ自立した組織として相互に連帯しながら活動を進めています。

子どもたちの未来の創造に向けて、「どのような子どもたちを育てるのか」という目標やビジョンを学校・保護者・地域住民が共有し、「地域とともにある学校」実現のため、町内会から協議会に地域委員を推薦し、学校運営や必要な支援に関する協議に参画するとともに、多くの町内会員が教育活動・行事等へ参加・支援しております

= 2022年度計画 =

1. 町内会各部の活動内容の計画

●広報部

1. 町内会などの全戸配布物（町内会書面総会資料・各種のお知らせなど）の配布を実施
2. 各種ポスター・お知らせなどを掲示板に掲示
3. ホームページの運用管理を行います

●交通部

1. 土橋交差点街頭監視活動の参加
2. 盆踊り大会での交通整理
3. 子ども御輿の交通整理
4. 親子運動会の交通整理
5. 大晦日 土橋神社交通整理

●防犯部

1. 防犯パトロールの実施(年4回)。
2. 防犯灯・防犯カメラ新設を申請。
3. 防犯灯点検の実施。
4. 町内会管理の防犯カメラの運用。
5. 町内会行事（納涼盆踊り大会・親子運動会・土橋ウォークなど）の警備・安全見守り活動の実施。

●環境衛生部

1. 尻手黒川線、区役所通り、土橋小前各街路の街路樹清掃活動の実施：年間13回を計画。
2. 川崎市の緑化推進地区指定に基づく花苗支給に呼応した「土橋園芸クラブ」による花壇造成・維持活動を支援。
3. 納涼盆踊り大会、親子運動会の会場美化活動の実施。

●防災部

1. 防災会議の開催（8月7日）
2. 防災の集いの実施（9月4日）
3. 「防災組織令和4年度版」作成・配布
4. 避難所運営会議の開催
5. 防災資器材の購入

2. 高齢者地域福祉活動の計画

●土橋カフェ：コロナ感染の収まり状態を見て再開を検討する

●地域包括ケア圏域会議：年2回実施を予定

●認知症サポーター養成講座：年2回の開催を予定するが時期は未定